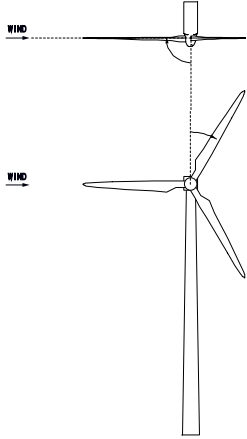
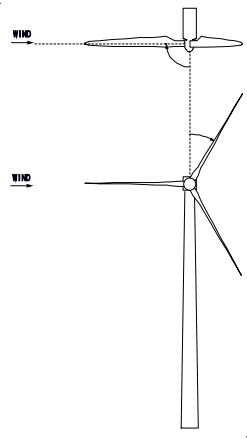


風力発電設備支持物構造設計指針・同解説 [2007 年版] 正誤表

頁	行, 図, 表	誤	正	注釈
	委員構成	松宮 輝	松宮 輝	
36	下から 1 行目	図 2.5 に示した。	図 2.4 に示した。	
56	下から 7 行目	一様な地表面粗度区分 $P(\theta)$ と標高 0 を持つ地形	一様な地表面粗度区分 $P(\theta)$ を持つ地形	
57	上から 1 行目	一様な地表面粗度区分 $P(\theta)$ と標高 0 を持つ地形	一様な地表面粗度区分 $P(\theta)$ を持つ地形	
57	上から 11 行目	(標高 0 で , 一様な地表面粗度区分を持つ地形)	(一様な地表面粗度区分を持つ地形)	
64	下から 1 行目	(3.22)	(3.24)	
65	下から 1 行目	(3.23)	(3.25)	
96	式 (5.12)	$\begin{Bmatrix} x(z_0^C) \\ x(z_1^C) \\ \vdots \\ x(z_n^C) \end{Bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 & dz_1^C & L & dz_n^C \\ 0 & 0 & L & dz_n^C \\ M & M & O & M \\ 0 & 0 & L & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 & dz_1^B & L & dz_n^B \\ 0 & dz_1^B & L & dz_n^B \\ M & M & O & M \\ 0 & 0 & L & dz_n^B \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} x_{zz}(z_0^C) \\ x_{zz}(z_1^C) \\ M \\ x_{zz}(z_n^C) \end{Bmatrix}$	$\begin{Bmatrix} x(z_0^C) \\ x(z_1^C) \\ \vdots \\ x(z_n^C) \end{Bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 & dz_1^C & \dots & dz_n^C \\ 0 & 0 & \dots & dz_n^C \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ 0 & 0 & \dots & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 & dz_1^B & \dots & dz_n^B \\ 0 & dz_1^B & \dots & dz_n^B \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ 0 & 0 & \dots & dz_n^B \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} x_{zz}(z_0^C) \\ x_{zz}(z_1^C) \\ \vdots \\ x_{zz}(z_n^C) \end{Bmatrix}$	
112	下から 7 行目	定格風速(m/s)	年平均風速(m/s)	
112	図 5.25			ブレードがフェザリングになっていなかったため、フェザリングに修正した。
108 109	図 5.20 図 5.21 図 5.22 図 5.23	詳細法 簡便法	簡便法 詳細法	凡例の細い実線と点線は簡便法、プロットは詳細法である。
168	5 行目	別途, 既往の文献・資料等から適切な応力評価式を得るか,	「日本建築学会煙突構造設計指針」 ¹⁴⁾ の 7.3.3 項に従い, 開口部の応力を評価するか, または	
264	14 行目	$h=32.33\text{m}$	$h=32.43\text{m}$	
265 303	5 行目 4 行目	式(3.23)のレーリー分布	式(3.25)のレーリー分布	
269	10 行目	$T \geq 1.125$	$T \geq 1.152$	
303	9 行目	表 10.33 から	表 10.40 から	

304	表 10.40 最下行	1173		1173kNm は , p.113 (5.63)式の分母を 1 と仮定して計算した。分母を厳密に計算した場合には 1307kNm になる。
337	最下行	Ip は , 式 (3.3) および式 (3.4) に従い	Ip は , 式 (3.5) および式 (3.6) に従い	